

長野県

# 土木施工管理技士会報

第52号

2021年(令和3年)

3月31日

発行 長野県土木施工管理技士会 〒380-0824 長野市南石堂町1230 長建ビル  
TEL026-228-7200(代) FAX026-224-3061

発行責任者 野島登 制作 新建新聞社



令和2年12月13日に開通した主要地方道大町麻績インター千曲線 生坂村山清路バイパス(山清路大橋)  
写真提供:川田・綿半特定建設工事共同企業体 平林建設株式会社



## 令和2年度 長野県土木施工管理技士会総会(令和2年6月25日)



令和2年度の技士会総会は長野市のホテルメトロポリタン長野において、令和2年6月25日に行われました。新型コロナウイルス感染症対策として、来賓者も建設業協会の正副会長のみとし、表彰等についても紹介のみとするなど、例年になく少ない人数により実施されました。野島会長からは、技士会は良質な社会資本整備を提供するため、施工技術の向上と

効率的で安全な施工を目指してきており、引き続き技術者としての原点に立ち、「安全で良質で、早くしかも経済的」を目標に資質向上に努めていきたいと挨拶がありました。

なお、総会の最後に技士会事務局長として平成22年4月より10年にわたり会の活動を積極的に推進し支えてこられた今井長郎氏から退任のご挨拶をいただいたところです。



(退任した前今井事務局長)

## 令和2年度 長野県との意見交換会(令和3年2月17日)

令和3年2月17日長野ターミナル会館において、長野県との意見交換会を実施しました。

今年度は、工事書類簡素化の試行が令和2年10月から始まり、このテーマについて集中して意見交換するために「工事書類簡素化試行に関する意見交換会」と「公共事業担当部局及び会計局契約・検査課との意見交換会」を分けて2部制で行われました。

長野県からは青木技術管理室長様ほか全10名の

方が、技士会からは、会長はじめ全40名が参加しました。新型コロナウイルス感染症対策として広い会議室において、長机に1名ずつ座るなどの対策を講じた会議となりました。

前半会議では工事書類簡素化に関する6議題について意見交換し、長野県からは施工体制台帳作成に関する通知や災害工事などで実施している工事書類簡略化の通常工事への適用などについて説明がありました。

後半会議では、今年度の新規議題が14議題、昨年度の検証に関する議題が5議題、併せて19議題について活発に意見交換が行われました。最後に小松主任専門指導員様と技士会下田副会長より「まとめ」として発言をいただき閉会しました。

コロナ禍のなかで、様々な行事が中止になるなど大変な社会情勢が続きますが、無事開催でき関係の皆様へ感謝申し上げます。



(敬称略)

## 令和2年度 全国土木施工管理技士会 連合会長表彰受賞者名簿

| 表彰規定<br>該当事項  | 受賞者名             | 備 考                                                     |
|---------------|------------------|---------------------------------------------------------|
| 第2条<br>(1)イ～ホ | 長野県土木施工<br>管理技士会 | 技術力及び社会的地位の向上に努め、特にその功績が顕著な正会員                          |
| 第3条<br>(2)ロ   | 市川 勇人            | 永年にわたり役員、または委員会の委員として尽力し、その功績が顕著な方。(正会員の理事・監事)          |
|               | 下田 文雄            |                                                         |
| 第3条<br>(2)ハ   | 今井 長郎            | 永年にわたり役員、または委員会の委員として尽力し、その功績が顕著な方。(正会員の職員のうち事務局長)      |
| 第3条<br>(2)ニ   | 上原 香             | 永年にわたり役員、または委員会の委員として尽力し、その功績が顕著な方。(正会員の職員のうち事務局長を除く職員) |
| 第4条<br>第2項    | 鷹野 正明            | 優良工事として表彰された公共工事に、監理技術者または主任技術者として従事した技術者で、他の模範となる方。    |
|               | 矢島 岳雄            |                                                         |
|               | 宮沢 政昭            |                                                         |
|               | 細野 寛和            |                                                         |
|               | 池端崇一朗            |                                                         |
|               | 梶間 幸博            |                                                         |

## 第24回 土木施工管理技術論文・技術報告表彰者名簿

| 賞    | 題 名                               | 表 彰 者 名          |
|------|-----------------------------------|------------------|
| 技術報告 | 優秀賞<br>背面埋戻しを伴うアンカー付土留杭工の施工管理について | 荻久保 武志<br>中 村 敏幸 |

## 令和2年度 長野県技士会長表彰該当者名

| 支部名 | 該当者名  | 該当者名  | 該当者名  |
|-----|-------|-------|-------|
| 南佐久 | 小林 一馬 |       |       |
| 佐 久 | 細谷 栄二 | 伊坂 淳一 |       |
| 上 小 | 岩下 通孝 |       |       |
| 諏 訪 | 清水 千喜 |       |       |
| 伊 那 | 緑川 作也 | 那須野 彰 |       |
| 飯 田 | 柴田 博昭 | 水野 弘昭 |       |
| 木 曽 | 澤口 和実 |       |       |
| 松 筑 | 洞澤 幸一 | 増田 均  |       |
| 安曇野 | 横澤 昌幸 |       |       |
| 大 北 | 高原 卓司 | 松沢 実  | 内川 浩一 |
| 須 坂 | 片山 雅彦 |       |       |
| 中 高 | 依田 弘孝 |       |       |
| 長 野 | 清水 信寿 |       |       |
| 飯 山 | 綿貫 千晃 |       |       |
| 合 計 | 20名   |       |       |



長野県技士会が受賞した  
全技連表彰状

## 令和2年度長野県技士会事業報告

5月19日 監査会、役員会 長野市(長建ビル)

- ①会計監査
- ②元年度事業報告、元年度収支決算報告
- ③2年度事業計画(案)、2年度予算(案)審議
- ④第36回通常総会開催について審議

5月29日 (一社)全国土木施工管理技士会連合会  
通常総会(東京都内 委任状参加)

- ①元年度事業報告及び収支決算に関する件
- ②2年度事業計画及び収支予算(案)について
- ③役員改選

6月25日 第36回通常総会開催 長野市(ホテルメトロポリタン長野)

- ①全国技士会連合会(全技連)会長表彰伝達 10名
- ②土木施工管理技術論文・技術報告表彰伝達 2名
- ③長野県技士会長表彰伝達 20名
- ④元年度事業報告、元年度収支決算承認
- ⑤2年度事業計画(案)、2年度予算(案)議決
- ⑥役員選任

8月4日 新旧役員会 長野市(長建ビル)

- ①退任役員への感謝状贈呈
- ②委員会設置について 常設委員会(企画委員会、運営委員会、広報委員会、技術委員会)
- ③令和2年度事業について

8月25日 第1回長野県土木施工管理技士会技術委員会 長野市(長建ビル)

工事しゅん工書類の標準化及び簡素化について 長野県との意見交換会

10月30日 第1回現場技術研修会 31名

飯田市川路(天龍峡大橋)・喬木村伊久間(リニア関連道路)・松川町大島(宮ヶ瀬橋)

11月20日 中間監査実施 長野市(長建ビル)、第2回技士会理事会(書面審議)

12月10日 (一社)全国土木施工管理技士会連合会事務局長及び実務担当者会議(Web会議)

12月14日 関東ブロック技士会連合会 国土交通省関東地方整備局との意見交換会(Web会議)

1月20日 第2回長野県土木施工管理技士会技術委員会 長野市(長建ビル)

2月17日 第3回長野県土木施工管理技士会技術委員会(工事書類簡素化試行に関する意見交換会)  
長野県公共事業担当部局および会計局契約・検査課との意見交換会  
長野市(長野ターミナル会館)

4月1日～ CPDS入会手続き随時(事務局)・会員名簿の管理(事務局)



8月4日新旧役員 感謝状贈呈

### 講習会

|               |                 |              |           |
|---------------|-----------------|--------------|-----------|
| 6月3日～6月5日     | 1級土木受験準備講習会(学科) | (松筑建設会館)     | 中止        |
| 9月2日～9月4日     | 2級土木受験準備講習会     | ( // )       | 受講者数 66名  |
| 9月7日～9月8日     | 1級土木受験準備講習会(実地) | ( // )       | 中止        |
| 10月20日～10月23日 | 登録解体講習          | (松本安全衛生センター) | 受講者数 214名 |

(敬称略)

## 長野県土木施工管理技士会役員

| 役 職 名 |       | 支 部 名 | 氏 名   |
|-------|-------|-------|-------|
| 会 長   |       | 飯 田   | 野島 登  |
| 副 会 長 |       | 大 北   | 窪田 利行 |
|       |       | 中 高   | 下田 文雄 |
| 理 事   | 東 信   | 南 佐 久 | 小林 一吉 |
|       |       | 佐 久   | 小林 俊司 |
|       |       | 上 小   | 佐藤 公明 |
|       | 南 信   | 諏 訪   | 高山 徳也 |
|       |       | 伊 那   | 黒河内勇雄 |
|       |       | 飯 田   | 棚田 稔  |
|       | 中 信   | 木 曾   | 青木 孝尚 |
|       |       | 松 筑   | 関川 光寿 |
|       |       | 安 曇 野 | 小松 保久 |
|       |       | 大 北   | 原 滋俊  |
|       | 北 信   | 更 埴   | 武田 敏光 |
|       |       | 須 坂   | 市川 勇人 |
|       |       | 中 高   | 丸山 浩次 |
|       |       | 長 野   | 和田 幸文 |
|       |       | 飯 山   | 半藤 大輔 |
|       | 事 務 局 | 専務理事  | 小林 康成 |
|       |       | 常務理事  | 手塚 雄保 |
| 監 事   | 東 信   | 上 小   | 栗木 悦郎 |
|       | 中 信   | 大 北   | 峯村 浩文 |
|       | 北 信   | 飯 山   | 篠田 秀人 |

## 長野県土木施工管理技士会技術委員会

| 役 職 名   | 支 部 名 | 氏 名   | 会 社 名     |
|---------|-------|-------|-----------|
| 会 長     | 飯 田   | 野島 登  | 野島建設(株)   |
| 担当副会長   | 中 高   | 下田 文雄 | (株)下田土建   |
| 担 当 理 事 | 中 高   | 丸山 浩次 | 中野土建(株)   |
| 委 員     | 南 佐 久 | 笹崎 俊一 | 畑八開発(株)   |
| //      | 佐 久   | 黒澤 和之 | 大進建設(株)   |
| //      | 上 小   | 関 三喜男 | (株)宮 下 組  |
| 委 員 長   | 諏 訪   | 藤森公仁雄 | 興和工業(株)   |
| 委 員     | 伊 那   | 福澤 康男 | 小澤建設(株)   |
| //      | 飯 田   | 山本 仁  | 吉川建設(株)   |
| //      | 木 曾   | 森下 優一 | 山一建設(株)   |
| //      | 松 筑   | 児玉 一良 | (株)望 月 組  |
| //      | 安 曇 野 | 松澤 建治 | (株)松 澤 組  |
| //      | 大 北   | 坂本 薫  | 小谷建設(株)   |
| //      | 更 埴   | 平林 勝彦 | 中信建設(株)   |
| //      | 須 坂   | 山口 修司 | (株)旭 建 設  |
| //      | 中 高   | 北原 隆夫 | 平穩土建(株)   |
| 副 委 員 長 | 長 野   | 荻原 雅彦 | (株)守谷商会   |
| 委 員     | 飯 山   | 滝沢 卓也 | (株)サンタキザワ |



## 登録解体講習開催報告



「登録解体工事講習会」では、大勢の方にご参加いただきありがとうございました。  
本講習会は、1回目の平成30年2月から令和2年10月までの5回にわたり、松本市内の会場で開催いたしましたが、いずれも皆さんのおかげで無事に講習会を終了することができました。

### ◇概要

「登録解体工事講習会」は、平成28年6月より建設業許可の業種区分として、「解体工事業」が新設されたことにより「解体工事業」の許可を得た企業が「解体工事」を施工することとなりました。これに伴い解体工事の営業所専任技術者、監理技術者または主任技術者となる方を対象に講習会が開催されました。

### ◇実施状況

講習会は、ビデオ(DVD)による講義の後、修了試験を行いました。全体では、5時間近い講習会なので実際よりも長い時間に感じられたのではないのでしょうか。修了試験は20問・試験時間が30分ということで、皆さん真面目に取り組まれている様子もありました。

さて、5回開催する中では予期せぬこともありました。

まず、3月に開催した講習会では、陽気が暖かくなった頃に突然の大雪で、一日各科目、講習時間を変更しての実施となったこと。また、講習会の直前に「令和元年台風19号災害」が発生し、多くの地域に甚大な被害をもたらしたことは、まさに衝撃でした。

けれども、この災害では昼夜作業にあたり、復旧・復興の活動をされてきた建設業の皆さんには感動と共に、逞しさも感じました。そして、翌令和2年は世界中を巻き込む新型コロナウイルス感染症の発生が。今なお、感染拡大が続き、一日も早く収束してくれることを願うばかりです。

### ◇その他

「登録解体工事講習修了証」に関する諸手続きについては、一般財団法人 全国建設研修センターのHPから様式を入手してください。

問合せ先:一般財団法人 全国建設研修センター  
事業推進室 電話042-300-1743

## 登録解体工事講習 実施人数

長野県土木施工管理技士会

| 回   | 開催日             | 1日目 | 2日目 | 3日目 | 4日目 | 計     | 会 員   | 準会員<br>非会員 | 会 場          |
|-----|-----------------|-----|-----|-----|-----|-------|-------|------------|--------------|
| 1   | H30 2/28・3/1    | 304 | 271 |     |     | 575   | 550   | 25         | 松本文化会館(中ホール) |
| 2   | H30 9/25～9/28   | 119 | 132 | 105 | 102 | 458   | 435   | 23         | 松筑建設会館       |
| 3   | H31 3/1         | 239 |     |     |     | 239   | 215   | 24         | 松本文化会館(中ホール) |
| 4   | H31 10/16～10/18 | 65  | 51  | 66  |     | 182   | 128   | 54         | 松本安全衛生センター   |
| 5   | R2 10/20～10/23  | 58  | 53  | 45  | 58  | 214   | 187   | 27         | 松本安全衛生センター   |
| 合 計 |                 |     |     |     |     | 1,668 | 1,515 | 153        |              |

## 現場見学会報告

### <第1回現場技術研修会開催> 名勝と共存する天龍峡大橋



令和2年度の現場技術研修会が令和2年10月30日に好天の中31名が参加して執り行われました。研修内容は飯田市から松川町にかけての次の3箇所を視察し、それぞれ事業主体である国土交通省飯田国道事務所と長野県飯田建設事務所から説明をいただきました。

#### ①天龍峡大橋と三遠南信自動車道整備

#### ②リニア関連道路整備計画

#### ③(主)伊那生田飯田線 宮ヶ瀬橋

①の「天龍峡大橋と三遠南信自動車道整備」の視察では、天龍峡PAに集合した後、令和元年11月27日に供用を開始した天龍峡大橋と飯田山本ICから矢筈トンネルまでの飯橋道路区間22.1kmの道路整備について、飯田国道事務所の福田調査課長様から説明をしていただきました。その後、徒歩にて天龍峡大橋の桁下にある歩道「そらさんぽ天龍峡」を渡りながら視察をしました。

現地は花崗岩の奇岩や峡谷をはじめとする文化的価値の高い範囲であり史跡名勝天然記念物「名勝天龍峡」として文化財保護法により昭和9年に指定されています。その中に架設される橋が風致景観と調和し圧迫感を最小限とするデザインとなるよう計画にあたっては、景観・構造検討委員会を設けて、多岐に渡る審議を行ない、「上路式で扁平なアーチ橋」の3次元構造「バスケットハンドル型アーチ橋」となっ

たとのことです。更に、桁下にある検査路を歩道空間と兼用にし、雄大な景色を眺望できるよう工夫されています。当日は、紅葉も始まっているためか訪れる観光客も多数見かけ、飯田地域の新たな観光スポットにもなっていると感じました。

②の「リニア関連道路整備計画」については、計画地を一望できる喬木村の「縄文の丘フルーツパーク」に移動し、道路整備を行う長野県飯田建設事務所の細川所長様からリニア中央新幹線長野県駅など具体的な場所を示しながら道路整備計画について、詳しく説明を頂きました。

③の「(主)伊那生田飯田線 宮ヶ瀬橋」では、昭和33年に架設された現橋の幅員が5m程度と狭いうえ、老朽化が進んでいるため天竜川の下流に新橋を架け、前後1.5km区間をバイパスとして整備しています。既に橋梁は架設され、舗装などの仕上げと前後の取り付け道路整備を進めているところです。





## 技術者検定試験制度改定・現場技術者規制合理化

建設業は高齢化が進む中、将来の担い手をしっかりと確保していくことが急務です。このような中、令和元年6月に建設業法が改正され、令和3年4月から新たな試験制度がスタートします。そこで改定の背景と概要を説明します。

### 検定見直しの背景

国土交通省の技術検定制度改正のホームページによると、制度見直しの背景として次の7つが課題として掲げられています。

①将来の大量退職時代に備え、入職促進の取組が不可欠 ②受験者数が減少傾向にあり、合格者年齢も上昇 ③資格取得によるキャリアステップの階層が少ない ④2回連続で実地試験に不合格となった場合、学科試験から受け直す者が大幅に減少 ⑤2級取得の有無や学歴等と、受験要件のバランスが必ずしも取れていない ⑥不正行為等を働いた場合でも資格取得者への処分規定がない ⑦学科試験不合格となった高校生の卒業後の再受験者が低迷

これらの課題を改善すべく制度改定内容の検討が国土交通省により進められました。

### 見直しの概要

今回の法改正による見直し概要は次の通りです。

#### 1 試験区分見直しと技士補の創設

(令和3年4月から)

①これまでの「学科」、「実地」区分を「第1次」、「第2次」区分に変更し、「第1次」においても施工管理の能力を求めることとなった。

②1級、2級とも第1次検定合格者を技士補(今回新設)とし、第2次検定合格者を技士とする。

③2級第2次試験合格者は、1級の学科、実地試験を受験するのに所定の実務経験(5年又は3年)が必要だったが、1級1次試験は実務経験が不要となった。

(1級2次試験の実務経験は変わらず)

④1級2級ともに、学科試験合格後実施試験が2回不合格の場合、再度学科試験からやり直しが必要だったが、制限がなくなった。

※注意点 令和2年度末時点での学科合格者(学科試験免除者)は、その免除期間内に限り、新制度の第2次検定合格で技士となれます。

#### 2 監理技術者専任の緩和(令和2年10月から)

監理技術者の職務を補佐する者として政令で定める者を専任で置いた場合には、監理技術者の兼務を認める。(当面2現場)また、政令で定める者は、主任技術者の要件を有する者のうち、1級技士補の資格を持つ者などとする。

#### 3 専門工事一括管理施工制度創設

(令和2年10月から)

鉄筋工事や型枠工事の特定専門工事において、1次下請けの主任技術者が一定の条件を満たし、元請や二次下請けと書面合意があれば、二次下請けの主任技術者を置かず管理の効率化を図ることができる。

### 令和3年度 土木施工管理技術検定日程

| 種 別            | 試験日       | 申込受付                     |
|----------------|-----------|--------------------------|
| 1級 第1次         | 7月4日(日)   | 3月17日(水)                 |
| 1級 第2次         | 10月3日(日)  | 3月31日(水)                 |
| 2級 第1次<br>(前期) | 6月6日(日)   | 3月3日(水)<br>～<br>3月17日(水) |
| 2級 第1次<br>(後期) | 10月24日(日) | 7月6日(火)<br>～<br>7月20日(火) |
| 2級 第2次         |           |                          |
| 2級 第1・2次       |           |                          |

### 技士会の講習会予定

令和3年度は次のとおり予定しています。

1級(1次): 5月26(水)～28(金)

松本安全衛生センター

2級: 9月1(水)～3(金) 松本市松筑建設会館

1級(2次): 9月6日(月)～7日(火)

松本市松筑建設会館

いずれも別途、改めてご案内しますが、諸事情により変更となる場合があります。



## 南佐久支部 WEBで行われた三大災害絶滅推進大会

令和2年7月15日(水)、三大災害絶滅推進大会をWeb上で開催いたしました。

思い起こせば、GW前に北原支部長との何気ない会話が発端でした。コロナ禍が続いていて、労働基準監督署も安全パトロール、安全大会ができなくて困っていると。ZOOMというアプリで会議に参加したことがあった私は、ミーティングIDとパスワードがあれば簡単に参加できるので、大会もできるんじゃないでしょうか?と支部長に言ってしまいました。この何気ない一言が始まりだったのです。理事会で三大災害絶滅推進大会をWeb上でおこなうことが決まり、それを実施するのはIT推進チームだと。こうして準備を始めることになりました。

さて、ZOOMというアプリ、使ったことはあってもミーティングを主催するとなると話は別、まずは使ってみることからでした。それと同時に協会所有のパソコンのスペックを上げる必要がありそうとなりこれもパーツを揃え、同時にWindows10にバージョンUPしました。この三大災害絶滅推進大会はCPDSのunit対象としていることもあり、例年の出席者は70名ほど、この方たちが確実に接続できなくてははいけません。またCPDSを認定する土木施工管理技士会にも認定を受ける条件の確認が必要となります。考えれば考えるほど課題が浮かびます。

IT推進チームで会議(これもZOOMで行いました)を行ってでてきた課題をまとめてみます。

- 1)出席予定者が確実に接続できること
- 2)70人の出席確認方法
- 3)接続トラブルが起きた人への対応
- 4)ZOOMを使えない人への対応
- 5)CPDSの認定条件への対応

とこんな感じでした。

実際にZOOMを使ってやってみるのが一番ということで、IT推進チームメンバーにリモート接続してもらい、大会のリハーサルを重ねて課題解決の方法を探りました。一番悩んだのが、ZOOMで参加できない場合でした。当時Webカメラが品薄ということもありましたが、それを理由に参加できませんというわけにはい

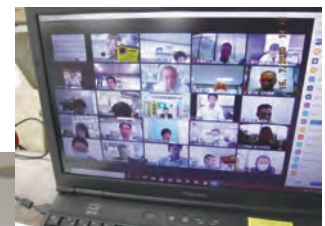
きません。そこでZOOMで参加してもらうのと会場で参加してもらうことを両立させることになりました。リハーサルを重ねるうちにZOOMの使い方にも慣れて、便利な機能があることも発見できました。初めてのことで、手持ちの機材でおこなうようにしましたが、できる限り多くの出席者をPCモニターの画面に表示させたかったので大きなモニターを新たに購入しました。事務局の方には普段の仕事でも便利に使ってもらえます。

そんなこんなで、ようやく6月の終わりごろにこれならいけそうだと手ごたえを感じることができました。さて大会当日、会場づくりを終えて一休み、そして受付が始まりましたが順調です。大会自体も一部トラブルがありましたが、ほぼリハーサル通りに実施できて、無事終了することができました。反省点は次回以降に反映させていきたいと思います。終わって思ったことは

- 1)リハーサルを行って慣れること、そして問題点を洗い出して解決しておく。
- 2)リモート大会は通常の大会に必要な人手に加えて裏方の人手がさらに必要。
- 3)トラブルが起きた時の対応を考慮しておく。

今回の大会は事務局の中嶋さん、上原さん、そしてIT推進チーム全員の協力があったので実施できました。この場をお借りしまして感謝申し上げます。

南佐久支部  
(株)堀内組  
堀内文雄



## 現場体験紹介

### 可燃性ガス 発生箇所での 溶接作業

主任技術者  
藤森土木建設株式会社  
両角 保宏



橋梁の基礎杭施工で、地下の障害物除去に手間取り、遅れ気味の工程を取り戻すため、両岸にくい打ち機を入れ同時施工を行なった。やっと工程を取り戻す事が出来ると思った矢先に、打ち込んだ鋼管からメタンガスが発生し、溶接の火花に引火、鋼管内部で小規模な爆発が起こり作業ストップ、鋼管内部の可燃性ガスは危険濃度で発生していた、また施工ストップだ。困ったどうすれば作業の継続が出来るのか、送風機で希釈とか、逆に吸引とか、これといった対策がない中で、可燃性のガスが爆発するための酸素を排除出来ればな～、溶接鋼管を重ねると内部は密閉状態になり手出し出来なくなる、手もホースも入らない状態で、内部の酸素濃度を落とす方法とは？

「あった！」ドライアイスである、溶接個所に多量のドライアイス投入し上杭を重ね数分後に、内部の酸素濃度を測ると酸素は、二酸化炭素に入れ替わっていた、「よしこれだ」計測機で、酸素、可燃ガスを測りながらドライアイス屋への往復作業が始まった。入れては溶接、入れては溶接、以後、燃焼も爆発もなく無事鋼管打設を完了した。ちょっと変わったアイデアの紹介です。



### 今年度も続いた 災害復旧工事 での仮道確保

監理技術者  
木曾土工工業株式会社  
山本 悟



令和元年台風19号災害、令和2年7月豪雨災と、このところ県内で災害が続き私の勤務する会社周辺でも数箇所被害がありました。

本復旧まで時間がかかるため、通行止の道路を片側通行で仮復旧するという、工法は違いますが同じような災害復旧工事を2年連続で担当する事になりました。普段の現場の工期内での工程管理と違い、道路の供用開始日を決められた中での工程管理となり休日や夜間に作業を行う事もあり苦労しましたが、

生活道路として使用している方々は時間をかけて迂回し大変苦労していたことを考えるとそれも仕方ない事だと思えました。どちらの現場も、片側通行ではありましたが供用を開始し一般車両が通行している所を見ていると、普段の工事が完成した時とは違った充実感がありました。災害は起きてほしくありませんが良い経験になりました。



(国) 361号 木曾町神谷地区



## 会員のこえ



### これからの 建設業界

上小支部 岩下通孝  
(前)岩下組

建設業界は、社会にとって欠かすことのできない存在です。生活の基盤となる、住まいや会社、公共施設などありとあらゆるところで、建設業界は関わっています。そんな建設業界が関わる公共事業やインフラ整備は景気を牽引すると思います。これらが活発化することで、直接需要と雇用が創出され、経済を活発化させる一つとなり得ると考えられます。

今回の新型コロナウイルスの感染拡大によって、日本経済は大きく落ち込みました。

そのため、建設業界が今後控えているインフラ整備を始めとする、様々な公共事業に期待が寄せられ

ているのかもしれませんが。

建設業界の今の課題として、やはり高齢化の問題で、若年層の労働力を確保できていないことが課題です。時代の変化によって若者にとっての仕事の価値観は「プライベート重視」になっていて、職場ではあまり深く関わらないような気がします。

しかし、建設業は危険回避などのために、どうしても指導が必要だったり、強く注意することがあります。そういった事が若者の求める職場環境のズレにつながり、結果的に離職となってしまうのではないのでしょうか。

働き方改革がさまざまな業種で進められていますが、まだまだ旧来の体制が深く根付いていることが、建設業界の高齢化という課題を生み出す原因になってしまったのかもしれませんが。

若い人が働いてみたいと思う業界に「時代の変化」と共に変えていかないと、これからの建設業界はいけないのではないのでしょうか。



### 新たな時代に 向けて

中高支部 北原隆夫  
平穩土建(株)

昨年からの新型コロナウイルスの影響により私たちの生活は一変しました。これは建設業界においても例外ではなく、今まで課題とされていた「働き方改革」、「担い手の確保」、「生産性の向上」にさらに取り組む必要があります。

この問題に関しては、それぞれが密接に絡み合う複合問題であり、皆さんも試行錯誤されているかと思っています。その中でも「働き方改革」、「担い手の確保」に関しては、私が就職した頃に比べると職場環境は改善されてきているとは思いますが、若年層にはそれが魅力に感じるレベルまでには到達していないの

かと思われます。今後、新3K「給与・休暇・希望」に代表される魅力ある建設業を実現するため、業界全体でも更なるPR活動に尽力していただくとともに、自分自身が担当する現場において、広く一般の方々に見て、興味を持っていただけるような魅力ある現場になるよう努力しなければならないと感じました。

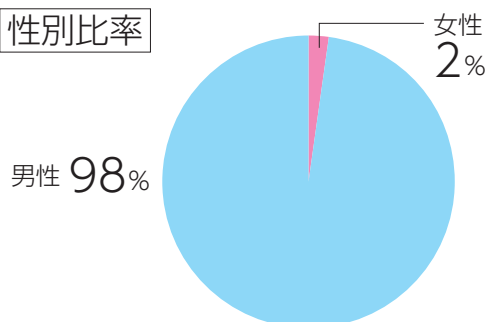
最後に社会全体が大きく変わる中において、建設業の本質は「人々の生活の当たり前を作り、支え維持していく仕事」であると私は考えています。但し、この本質を達成する為の過程はICTの活用で代表される様々な生産性向上の技術が開発されており、現場により様々な施工方法・管理方法が選択出来るように自分自身もそういった技術の進歩に対応できるように、常にアンテナを張り、色々なことに興味を持ち、日々研鑽に励みたいと思います。

# 長野県土木施工管理技士会 会員状況

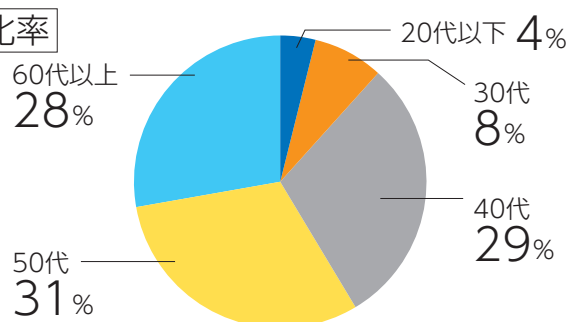
(令和3年2月末現在)

| 支 部   | 会員数   | 男性    | 女性 | 20代以下 | 30代 | 40代 | 50代   | 60代以上 |
|-------|-------|-------|----|-------|-----|-----|-------|-------|
| 南 佐 久 | 165   | 160   | 5  | 8     | 13  | 46  | 60    | 38    |
| 佐 久   | 284   | 277   | 7  | 5     | 18  | 58  | 73    | 130   |
| 上 小   | 119   | 114   | 5  | 4     | 10  | 24  | 41    | 40    |
| 諏 訪   | 242   | 241   | 1  | 6     | 23  | 90  | 66    | 57    |
| 伊 那   | 439   | 436   | 3  | 7     | 40  | 147 | 125   | 126   |
| 飯 田   | 441   | 435   | 6  | 23    | 45  | 118 | 141   | 114   |
| 木 曽   | 134   | 132   | 2  | 6     | 13  | 40  | 34    | 41    |
| 松 筑   | 377   | 370   | 7  | 11    | 29  | 97  | 123   | 117   |
| 安 曇 野 | 70    | 67    | 3  | 1     | 3   | 19  | 31    | 16    |
| 大 北   | 304   | 300   | 4  | 12    | 21  | 107 | 93    | 71    |
| 更 埴   | 41    | 40    | 1  | 0     | 0   | 7   | 17    | 17    |
| 須 坂   | 78    | 78    | 0  | 2     | 8   | 31  | 26    | 11    |
| 中 高   | 63    | 63    | 0  | 7     | 2   | 19  | 22    | 13    |
| 長 野   | 455   | 450   | 5  | 13    | 41  | 153 | 143   | 105   |
| 飯 山   | 148   | 145   | 3  | 14    | 18  | 42  | 38    | 36    |
| 合 計   | 3,360 | 3,308 | 52 | 119   | 284 | 992 | 1,033 | 932   |
| 比 率   |       | 98%   | 2% | 4%    | 8%  | 29% | 31%   | 28%   |

性別比率



年代比率



## 編集後記

先日とあるドラッグストアのレジに並んでいた時に、前方で会計中の老人が店員から「会員証はお持ちですか?」「〇〇の割引券はお持ちですか?」「〇〇ポイントカードはお持ちですか?無ければ今直ぐお作り致しますが…どうしますか?」と質問責めに。店員の親切心は良く判ります。でも「得です」「便利です」の押し売りが最近ちょっと過剰な気がします。結局その老人はその場でポイントカードを作ることを受諾し、手間取ってレジは大渋滞(泣)。私も鷹揚な心を持った人になりたいと願うものの、いつもイライラ、逆に心の狭い人間になるばかり。

私たちの建設業界も進歩しました。レベルやトランシットがトータルステーション。掛矢と丁張が3D施工データの入った端末機器。手書きの書類がWordやExcel。手書きの青焼き図面がCAD。誰が言ったか、効率が上がり仕事が3分の1に!しかし現実に残業や休日出勤は減らず、働き方改革はPremiumFriday同様に死語。擁

壁や橋台、舗装etc、造る物は一緒なのに書類は発注者毎に違う。

昔の手書き図面は太線と細線、実線と点線だけだったのに、CAD図面は256レイヤ。『便利になったから、書類は早くて綺麗が当たり前』の風潮がどんどんエスカレート。現場技術者は、発注者の要求が増えて、評価もされて、イライラ、ギスギスの日々。(昔の土建屋はもっとおおらかだったなあ～)

竣工書類は検査で1度使うだけ。それよりも50年も100年も人が使い続けられて、人を守る素敵な構造物を造ることに専念しましょう。それが土木施工管理技士の本分じゃないですか!…という夢を見ました。



広報副委員長  
長豊建設(株)  
棚田 稔